



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月8日

上場会社名 日本ピグメント株式会社
 コード番号 4119 URL <https://www.pigment.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 加藤 龍巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部担当 (氏名) 今井 信一
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6362-8801

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	35,329	3.4	929	36.5	858	3.9	539	37.0
30年3月期第3四半期	34,180	12.6	680	3.6	826	18.6	393	2.7

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 53百万円 (△96.4%) 30年3月期第3四半期 1,476百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	343.30	—
30年3月期第3四半期	250.56	—

(注) 当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	32,347	14,143	41.0
30年3月期	31,077	14,231	42.8

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 13,265百万円 30年3月期 13,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	80.00	80.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,800	△0.9	1,080	15.1	1,100	0.4	700	3.3	445.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	1,575,899 株	30年3月期	1,575,899 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	5,862 株	30年3月期	5,812 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	1,570,053 株	30年3月期3Q	1,570,368 株

(注)当社は平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.当四半期に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資に底堅さが見られ、雇用・所得環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、米中間の貿易摩擦による世界経済の停滞が懸念されるなど、景気の先行きには不透明感が強まっております。

このようななか当社グループにおいては、国内での樹脂コンパウンド需要及び樹脂用着色剤需要を背景に概ね予定どおりの業績となり、当第3四半期連結累計期間の当社グループの売上高は353億2千9百万円（前年同期比3.4%増）、経常利益は8億5千8百万円（前年同期比3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億3千9百万円（前年同期比37.0%増）となりました。

当社グループのセグメント業績は次のとおりであります。

日本

国内部門別の概況として樹脂コンパウンド部門は、秋口以降において一部で在庫調整局面は見られたものの自動車産業向けエンジニアリングプラスチックを中心に、概ね予定通りに推移し、部門営業利益は昨年を上回りました。

樹脂用着色剤部門は、一部のフィルム関連及び繊維関連等が比較的堅調に推移し、部門営業利益は昨年を上回る結果となりました。

最後に、加工カラー部門は、自動車産業向けは底堅かったものの建材産業向け等が伸び悩み、想定を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は208億1百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は5億5千4百万円（前年同期比36.6%増）となりました。

東南アジア

東南アジアは、前期に続き家電産業向けの受注が好調であったものの、自動車産業向けで伸び悩んだことから全体としては販売減となりました。当第3四半期連結累計期間の売上高は、139億9千4百万円（前年同期比0.4%減）となりましたが、販売構成等の影響もあり営業利益は3億7千6百万円（前年同期比24.8%増）となりました。

その他

その他は、中国での日系自動車関連の受注の回復もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は5億3千3百万円（前年同期比1.4%増）となり、営業損失は1百万円（前年同期営業損失2千6百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は323億4千7百万円と前期末の310億7千7百万円に比べ12億6千9百万円の増加となりました。

資産のうち流動資産は155億2千2百万円と前期末の153億2千1百万円に比べ2億円の増加となりました。この主な要因は現金及び預金が1億6千3百万円、受取手形及び売掛金が1億6千1百万円それぞれ減少、製品が3億8千万円、原材料及び貯蔵品が1億9千7百万円それぞれ増加したことなどによるものです。固定資産は168億2千4百万円と前期末の157億5千6百万円に比べ10億6千8百万円の増加となりました。この主な要因は有形固定資産が13億8千6百万円増加し、投資有価証券が4億7千5百万円減少したことなどによるものです。

負債合計は182億3百万円と前期末の168億4千5百万円に比べ13億5千7百万円の増加となりました。負債のうち流動負債は132億8千3百万円と前期末の130億9千万円に比べ1億9千2百万円の増加となりました。この主な要因は賞与引当金が9千1百万円減少し、その他が2億8千2百万円増加したことなどによるものです。固定負債は49億1千9百万円と前期末の37億5千4百万円に比べ11億6千5百万円の増加となりました。この主な要因は長期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産合計は141億4千3百万円と前期末の142億3千1百万円に比べ8千8百万円の減少となりました。この主な要因は利益剰余金が増加し、その他有価証券評価差額金が2億9千3百万円、為替換算調整勘定が1億8千万円、非支配株主持分が6千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期における通期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,241,218	2,077,766
受取手形及び売掛金	7,964,305	7,802,767
製品	2,473,286	2,853,920
原材料及び貯蔵品	2,255,327	2,452,790
その他	387,729	335,337
貸倒引当金	△300	△300
流動資産合計	15,321,566	15,522,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,571,749	2,461,419
土地	3,871,007	3,849,925
その他(純額)	2,790,087	4,308,301
有形固定資産合計	9,232,844	10,619,646
無形固定資産	212,310	255,054
投資その他の資産		
投資有価証券	5,612,245	5,136,999
その他	712,989	827,467
貸倒引当金	△14,265	△14,265
投資その他の資産合計	6,310,970	5,950,202
固定資産合計	15,756,125	16,824,903
資産合計	31,077,691	32,347,186
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,230,707	7,230,885
短期借入金	3,734,593	3,761,927
未払法人税等	160,440	134,549
賞与引当金	190,329	98,993
その他	1,774,898	2,057,243
流動負債合計	13,090,969	13,283,599
固定負債		
長期借入金	2,334,772	3,528,322
繰延税金負債	936,308	892,704
退職給付に係る負債	420,043	435,231
その他	63,662	63,662
固定負債合計	3,754,786	4,919,919
負債合計	16,845,755	18,203,519

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,481,159	1,481,159
資本剰余金	1,033,980	1,033,980
利益剰余金	9,290,916	9,704,321
自己株式	△17,847	△18,022
株主資本合計	11,788,208	12,201,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,988,144	1,694,657
為替換算調整勘定	△323,955	△504,272
退職給付に係る調整累計額	△166,093	△126,804
その他の包括利益累計額合計	1,498,095	1,063,580
非支配株主持分	945,631	878,647
純資産合計	14,231,936	14,143,667
負債純資産合計	31,077,691	32,347,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	34,180,827	35,329,466
売上原価	31,224,417	32,042,413
売上総利益	2,956,409	3,287,052
販売費及び一般管理費	2,275,826	2,357,746
営業利益	680,582	929,306
営業外収益		
受取利息	1,970	3,063
受取配当金	73,134	78,518
持分法による投資利益	74,964	-
為替差益	23,649	-
その他	80,277	76,382
営業外収益合計	253,996	157,963
営業外費用		
支払利息	72,894	86,866
持分法による投資損失	-	14,937
為替差損	-	87,211
その他	35,164	39,693
営業外費用合計	108,058	228,709
経常利益	826,521	858,559
特別利益		
固定資産売却益	1,719	3,184
特別利益合計	1,719	3,184
特別損失		
固定資産除売却損	2,617	1,717
持分変動損失	120,242	-
特別損失合計	122,860	1,717
税金等調整前四半期純利益	705,379	860,027
法人税、住民税及び事業税	220,326	227,796
法人税等調整額	36,492	70,953
法人税等合計	256,818	298,750
四半期純利益	448,561	561,277
非支配株主に帰属する四半期純利益	55,078	22,265
親会社株主に帰属する四半期純利益	393,482	539,011

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	448,561	561,277
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	872,901	△293,487
為替換算調整勘定	△2,065	△308,302
退職給付に係る調整額	58,980	39,952
持分法適用会社に対する持分相当額	98,392	54,285
その他の包括利益合計	1,028,210	△507,552
四半期包括利益	1,476,771	53,724
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,455,340	104,497
非支配株主に係る四半期包括利益	21,430	△50,772

(3)【四半期連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

『税効果会計に係る会計基準』の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,605,485	14,049,103	33,654,588	526,238	34,180,827	—	34,180,827
セグメント間の内部 売上高又は振替高	195,962	127	196,089	10,450	206,540	△ 206,540	—
計	19,801,448	14,049,230	33,850,678	536,688	34,387,367	△ 206,540	34,180,827
セグメント利益又は損失(△)	405,789	301,489	707,278	△ 26,695	680,582	—	680,582

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注 2)
	日本	東南アジア	計				
売上高							
外部顧客への売上高	20,801,142	13,994,493	34,795,635	533,831	35,329,466	—	35,329,466
セグメント間の内部 売上高又は振替高	347,391	—	347,391	110,939	458,330	△ 458,330	—
計	21,148,533	13,994,493	35,143,026	644,770	35,787,797	△ 458,330	35,329,466
セグメント利益又は損失(△)	554,287	376,208	930,496	△ 1,190	929,306	—	929,306

(注) 1. 「その他」の区分は、海外事業の内、報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。